

## 労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

### 株式会社エムダブルエス日高

群馬労働局では、局長を本部長とする「働き方改革推進本部」を設置し、所定外労働の削減や年次有給休暇の取得促進、「夏の生活スタイル変革（ゆう活）」等の「働き方改革」について、企業に働きかける取組を進めております。

平成 28 年 7 月 25 日に、株式会社エムダブルエス日高を訪問し、代表取締役北嶋史誉氏に対し、「働き方改革」についての協力要請をするとともに取組内容についての意見交換を行い、更なる取り組みへの推進をお願いしました。



半田労働局長

北嶋代表取締役

#### 【株式会社 エムダブルエス日高】

本 社 群馬県高崎市日高町 3 4 9  
設立年月 1 9 7 7 年 1 0 月  
代 表 者 代表取締役 北嶋 史誉  
労働者数  
事業内容 在宅介護支援事業、医療支援事業

## 年次有給休暇の取得促進等について

ショートステイなど年末年始等も営業しているため、一斉に休みがとれないため、別の時期に連続した年休取得を勧奨するなど、「プラスワン休暇」の名称ではないが、取得促進を図っている。

パートで働いている方は年休取得率が高いなど年休取得の風土は定着しているが、パート以外の労働者の中には、年休をとっておきたいという考えの者もいることから、計画的に取得してもらうよう働きかけをしていくことが今後の課題である。

働きやすい職場というのは、休みがとりやすい職場であると考えられるため、労働者にもその考えを伝えるとともに、産前産後休暇や育児休業の取得も当たり前の職場となっている。人手不足の中、人材確保の面で、働きやすい職場であることをアピールしないと良い人材は採用できないと思う。産休・育休等休みを取得してもらい、戻ってもらえることで戦力となる。それにより、次に若い人が産休等を取得しやすくなるなど、お互い様の企業文化ができるとよいと考える。



## ゆう活について

夕方ミーティングがある場合には、朝はフレックスで遅く出勤するなど、「ゆう活」に近い取組は行っているところである。



(手前左) 宮村雇用環境・均等室長

(手前右) 高橋事業管理部長

## 両立支援の取組、女性の活躍推進について

当社は 800 人中、600 名が女性のため、女性が主体の職場である。

毎年 20 名程度新卒採用があるが、保育園や学童保育を運営しており、働きやすい職場であるということが、学生に伝わっているのであればうれしいことである。

なお、「くるみん」認定を取得しているが、マーク自体の知名度が上がることを期待している。

## その他

「介護離職」を防ぐ一環として、企業と契約し、契約した企業の労働者はフリーダイヤルやメールで介護に関する相談や、要請があればセミナーを開催できる事業を行っている。その中で、介護保険等を利用することにより、介護をしながら仕事を続けることができること等のアドバイスを行っている。

## 労働局から

今後も引き続き「働き方改革」（ゆう活・プラスワン休暇）については一層取組をいただきたい。

「くるみん」マークについては、学生の認知度が高まり、企業選択の目安になってきている。

「くるみん」マークは安定所の求人票に表示できる。また、名刺に表示する、リクルートの資料に入れることにより、子育てサポート企業であることをどんどんアピールいただきたい。

今後は「プラチナくるみん」の他、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の取得に向けた取組もお願いしたい。